

創立110周年を迎え、更なる発展へ



110周年記念式典

八農便り

協同 創造 自律



生徒による記念発表会



盛大に举行された式典



中学生体験入学

福岡県立八女農業高等学校
TEL 0943-23-3175
FAX 0943-22-7064

生産技術科

地域の農業から「食」「環境」「生命」を科学的に学びます。



学科の説明



小型建機操作練習

農業機械



果樹の品質について

果樹



お茶のおいしい入れ方

茶業

システム園芸科

農業と食料の未来を担う園芸のスペシャリストを目指します。



ペットボトルを活用した水耕栽培

野菜



フラワーアレンジメント

草花



ボトルプラント作り

バイオテクノロジー



生物利用科

アニマルサイエンス・フードサイエンス「生命」と「食」を学びます。



牛のブラッシング

動物科学



ポニーの乗馬

生活科学科

豊かな生活を目指すあなたへ農業を生かして生活をマネージメントします。



ボトルプラント作り



スローフード体験(フナヤキ作り)

フードデザイン



イチゴジャム作り

食品加工



パン作り



楽しいおもちゃ作り

ヒューマンサービス



ハーブ石けん作り

農業ワニフ

意見発表

食料・生産

システム園芸科 2年
金子 竜市 (福岡中)

私は福岡県代表として農業鑑定競技全国大会に出場しました。実際に問題を解いてみると、勉強が自分のなまで応用がきかないものだったことを思い知りました。この点を踏まえて、来年に向けて頑張りたいと思います。

農業鑑定競技

生活科学 優秀賞

生活科学科 3年
井上 美菜 (上陽中)

私は農業鑑定競技生活科学科の部で、福岡県代表として全国大会に出場しました。大会では絶対に賞を取りたいと思っていたので、自分のペースでしっかり勉強して本番に臨む事ができました。その際指導していただいた先生方には本当に感謝しています。ありがとうございました。

農業鑑定競技

畜産 優秀賞

生物利用科 3年
辻 楓 (福岡中)

私は、県大会で最優秀賞になり、長野県で開催された全国大会に出場しました。大会に向けて、資料を見たり、先生に教えていただいたりして、勉強を頑張りました。そのおかげで、最優秀賞には届きませんが、優秀賞を受賞することができました。ご指導下さった先生方に感謝しています。

八女農祭

文化委員長 生物利用科 3年

下川 恭平 (筑後中)



今回の八女農祭は、天気予報では雨となっていました。ほとんど降ることなく終ることが出来ました。今回のスローガンである「輝く農祭」には、生徒一人一人が輝き、みんなが楽しくなれる農祭という意味が込められていました。準備期間は、二週間と短い時間でしたが、生徒会を中心に生徒一人一人が役割を持ち協力して、準備出来ました。そのおかげで素晴らしい八女農祭を開催出来ました。一日目のステージ発表では、ステージと観客の生徒全体が一つになり、最近の寒さを感じさせないくらい熱くなれました。二日目の一般公開では千人以上の方々に来場していただき、模擬店や作物販売は大盛況でした。その他にも、参加体験や展示など満足も多かった内容だったと思います。三年生にとって卒業前の思い出になったと思います。

私は福岡県代表として農業鑑定競技全国大会に出場しました。実際に問題を解いてみると、勉強が自分のなまで応用がきかないものだったことを思い知りました。この点を踏まえて、来年に向けて頑張りたいと思います。

農業鑑定競技

園芸 優秀賞

システム園芸科 2年
金子 竜市 (福岡中)

私は、農業機械技術検定競技県大会で最優秀賞となり、長野県で開催された全国大会に出場しました。大会では優秀賞を受賞することができました。農業に関する知識を身につけることができ、いい経験になりました。何より楽しかったです。勉強を教えてくれた先生方に感謝いたします。

農業鑑定競技

農業機械 優秀賞

生物利用科 3年
牛島 竜希 (福岡中)

この全国大会を通して、目標に向かって努力することの大切さを学びました。また、農業機械についての知識をより深めることも出来ました。結果は残念でしたが、自分にとって非常に良い経験になったと思います。これまでご指導して頂いた先生方、本当にありがとうございました。



インターシツプ

鳥類センターで学んだこと

生物利用科 2年
橋爪 千瑛 (福岡中)

私は、8月20日から5日間、鳥類センターにインターンシップに行きました。1日目から3日目まではドームの中の水鳥やリスザル、ヒクイドリなどの園の中心に物を切つて準備を行います。残りの2日間は主にキツネや鶴、クジャクなどのエサやりや掃除、園の裏にいる鳥たちのエサをやりました。鳥たちのエサづくりのときは、エサの種類が多くて驚きました。配合飼料ばかりだと野営や果物・パンもあつて、鳥もキャベツやトマトを食べるのだということを知りました。水鳥のエサはキャベツと配合飼料を入れる箱が一箱なのので、食べやすくするため色々な工夫が入れられていて、魚をやるなどの工夫がしてありました。エサを作るときは、栄養のバランスも考えて動物たちにあったものを食べやすいように切らないといけないので、切りにくい包丁にも慣れることが出来ました。また、鳥類センターには目が見えない病気の鳥やケガがしてしまつた野生の動物、家で飼えなくなった動物たちを保護しているそうです。私は今回の実習を通して学んだことが二つあります。一つ目は、どんな仕事でも大変なのは当たり前で、その仕事をやりがいを見つけていること

大事だということです。初めはただ動物がいるから楽しそうだなと思つていましたが、実際は一日中働いてエサをやったり、掃除や草取りをしたり毎日同じことばかりで辛くなっていくこともありましたが、やってみると毎日エサをやるのが楽しくなりました。自分たちが毎日エサをやつて大切に育てている大きな鳥たちが「すーい、おーい」と言つて笑顔で楽しそうにふれあつていく光景を見るとき、なんだかとても嬉しくなつてくる気が出てきました。二つ目は、人や動物とのコミュニケーションです。飼育員から動物の世話だけと思つていましたが、その仕事をみてくると来られているお客さんに挨拶をしたり、子供たちに動物たちの説明をしたりなどお客さんとのコミュニケーションも大事なと思いました。この5日間は、自分にとって意味のあるものになりました。とても貴重な体験をさせていただき、本当にありがとうございました。

ポランティア部

「九州北部豪雨のボランティア活動」に参加して

牛島 美菜 (光友中)

私たちボランティア部9名は、7月21日(土)、22日(日)に被災地のボランティア活動に参加しました。活動を実施した地区は八女市山田地区と黒木町串毛地区で、実際に現地に入つてみるのと、被害の大きさに衝撃を受けました。道路は土砂で寸断され、河川は上流から流れて

きたガレキの山が横たわり、田や畑は無残な姿となつていました。それ以上に家屋の中には泥水が流入して、とても人が住めるような状況ではなかつた。突然立ち止まらなければならない状況で、私たちが復旧作業を担当させていただいた家屋も二階まで大量の土砂が流れ込み、何が埋まつているのかさき分らない状態で、土砂出し作業や庭に流れ込んだ土砂の除去作業との格闘でした。猛暑の中また慣れない仕事で、終わつてみると体が力尽きたようになっていました。正直、たいへん厳しいものでした。最後に家主の方が「ありがとうございました。深々と頭を下げられ、喜びの表情を浮かべられたのを見て、本当に参加してよかったと思つてきました。東北の大震災での「絆」の心を大事にしていきたいと思つています。

個人優勝、柳川市長杯で参加者二百名で準優勝さんが4位、平通香さんが8位、酒見樹君が9位、八女市体育大会では平通香さんが優勝、秋の昇段審査では井手俊希君が三段に合格しました。残りの部員も切磋琢磨し誰が活躍してもおかしくない部活動に取り組んでいます。3年生が引退して室園有紗主将を筆頭に、部員12名で頑張っています。10月27日に8月に行われた新人大会では、全力を尽くしましたが、予選リーグ敗退という悔しい結果になりました。しかし、チームの半分以上が未経験者という、若いチームです。この冬に、一回りも二回りも成長できるように頑張ります。部員も募集しております。初心者でも大歓迎ですので、是非入部して下さい。

秋の大会結果

弓道部
親 八女放生会弓道大会
女子個人 優勝
親 柳川市長杯 四位

テニス部
第53回八女市民体育大会ダブルス大会一般男子初級で1年3組伊藤直彦(筑後北中)・平野智也(筑後北中)組が準優勝でした。

